地殻変動データベース取扱説明書

2006.10.23

1.機能

北大地殻変動連続観測点の波形を描画、データダウンロードできます。

2.操作方法

2.1 ログイン

(1)http://koshihikari.sci.hokudai.ac.jp/~chikaku/db/login.php にアクセス。(図 1)

(2)管理者から示された ID とパスワードを入力。

(3)“ログイン”をクリック。

図 1　ログイン画面

2.2 波形描画

ログインすると図 2 の画面へ進みます。この画面で次の操作をしてください。

(1)観測点コードを選ぶ。

(2)描画期間を選ぶ。(1 分単位で指定可能)

(3)“描画”をクリックすると、図 3 のように描画されます。

ここで

・Y 軸スケールはオートスケール。

・使用するデータの選択はオート

選択期間 t のとき

t<24h	:1 秒サンプリング値
24h≦t＜11days	:1 分サンプリング値
11days＜t	:1 時間サンプリング値　が選択されます。

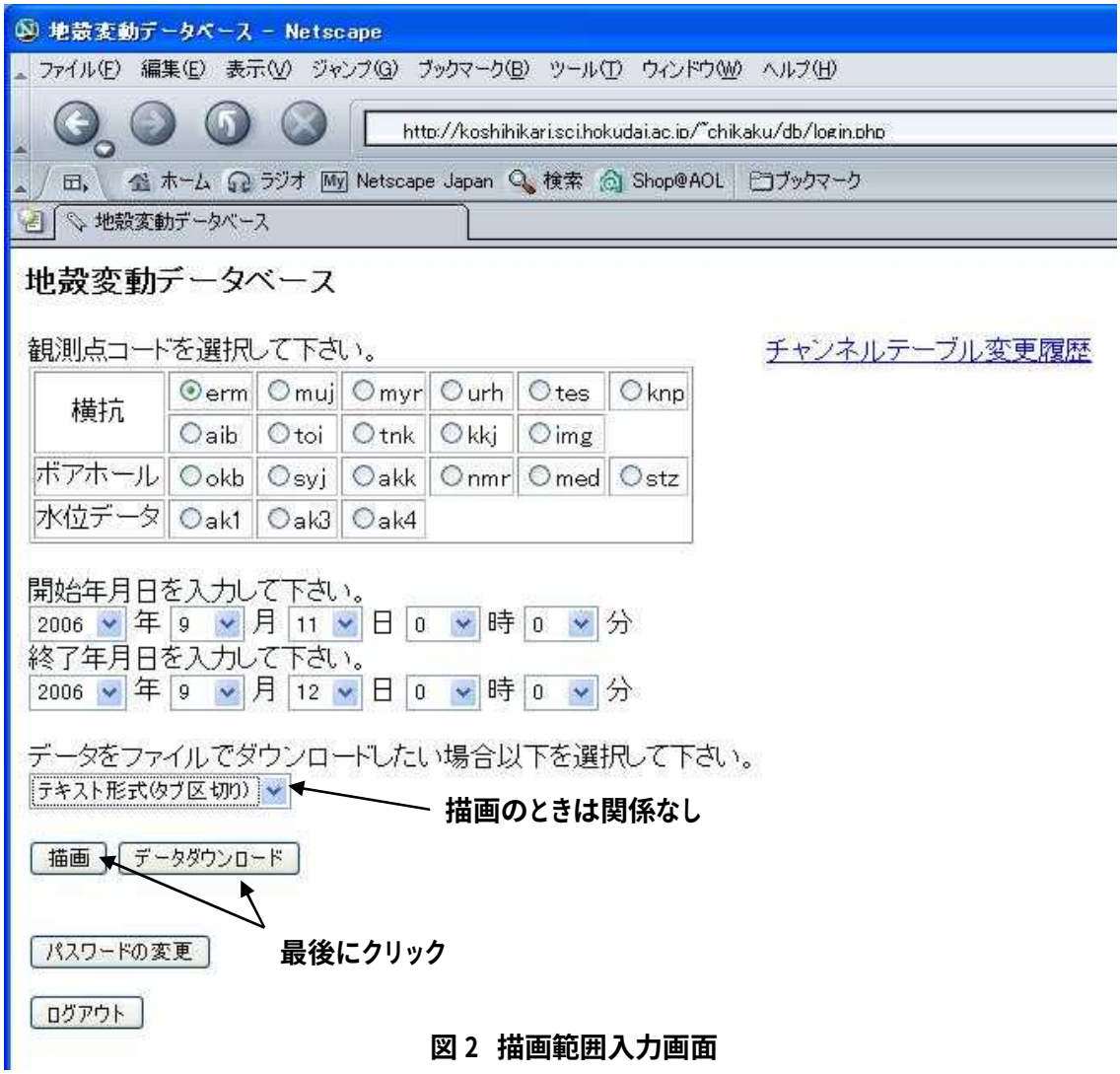
地殻変動データベース - Netscape
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ジャンプ(G) ブックマーク(B) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
http://koshihikari.sci.hokudai.ac.jp/~chikaku/db/login.php
ホーム ラジオ Netscape Japan 検索 Shop@AOL ブックマーク
地殻変動データベース
地殻変動データベース
観測点コードを選択して下さい。
チャンネルテーブル変更履歴
横抗 erm muj myr urh tes knp
aib toi tnk kkj img
ボアホール okb syj akk nmr med stz
水位データ ak1 ak3 ak4
開始年月日を入力して下さい。
2006 年 9 月 11 日 0 時 0 分
終了年月日を入力して下さい。
2006 年 9 月 12 日 0 時 0 分
データをファイルでダウンロードしたい場合以下を選択して下さい。
テキスト形式(タブ区切り)
描画のときは関係なし
描画
データダウンロード
最後にクリック
パスワードの変更
ログアウト

図 2　描画範囲入力画面

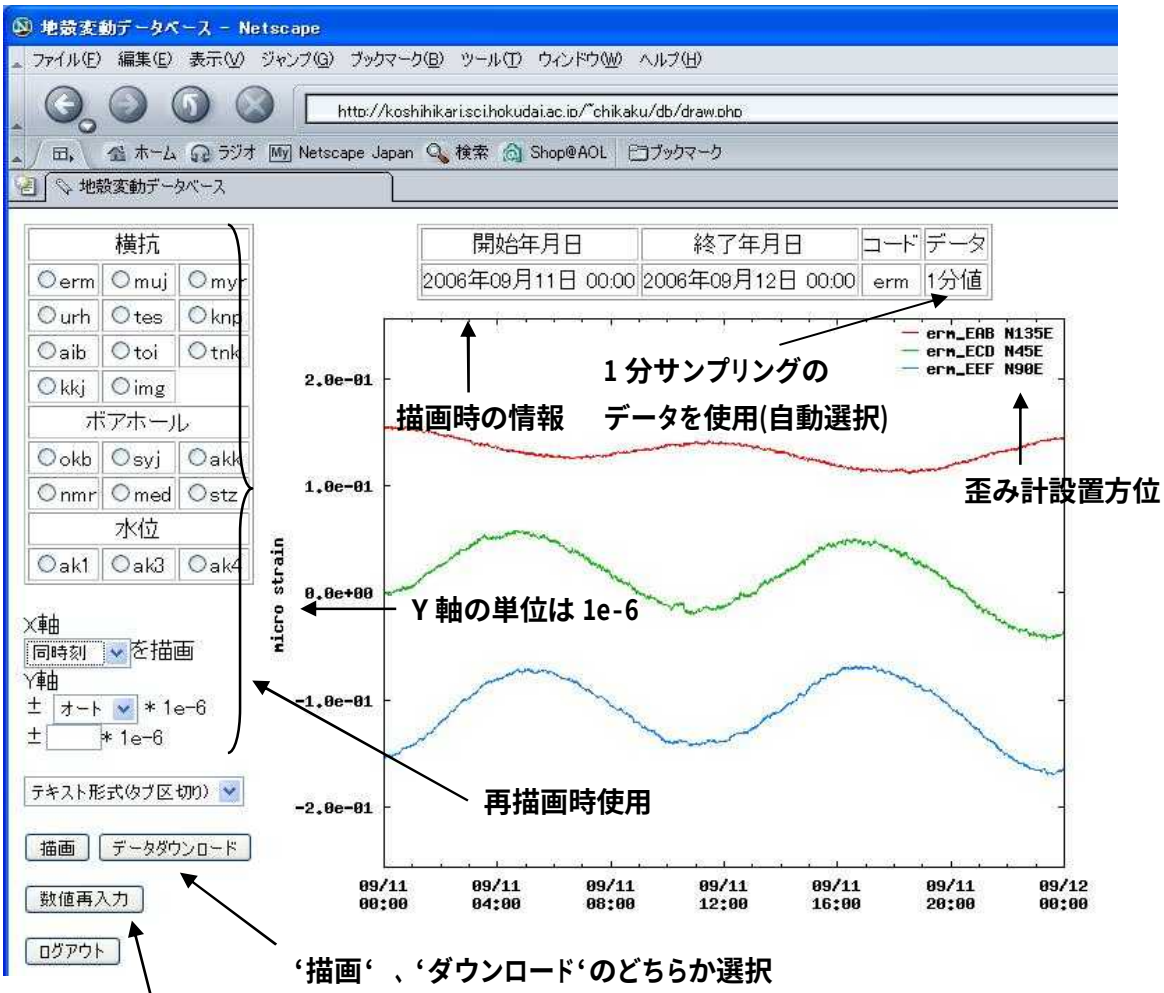

図 3 描画結果

2.3 再描画

描画結果(図 3)を見て、

・同じ観測点で Y 軸スケールを変えたい。

・同じ期間で他の観測点を見たい。

・少し時間をずらしたい。

のようなときは以下の操作をしてください。

1)Y 軸の操作

(1)図 3 の Y 軸と書いてある下のプルダウンメニューからスケールを選択または、
テキストボックスに任意の数字を入力してください。テキストボックスが優先されます。

(2)“描画”をクリック。

2)同期間で他の観測点描画

(1)観測点コードを選択。

(2)“描画”をクリック。

3)時間をずらす。

(1)図 3 の X 軸と書いてある下のプルダウンメニューからずらしたい時間を選択。

(2)“描画”をクリック。

2.4 もとの画面に戻る

違う期間を描画したい場合は図 3 で“数値再入力”をクリックすると図 2 の画面に戻ります。

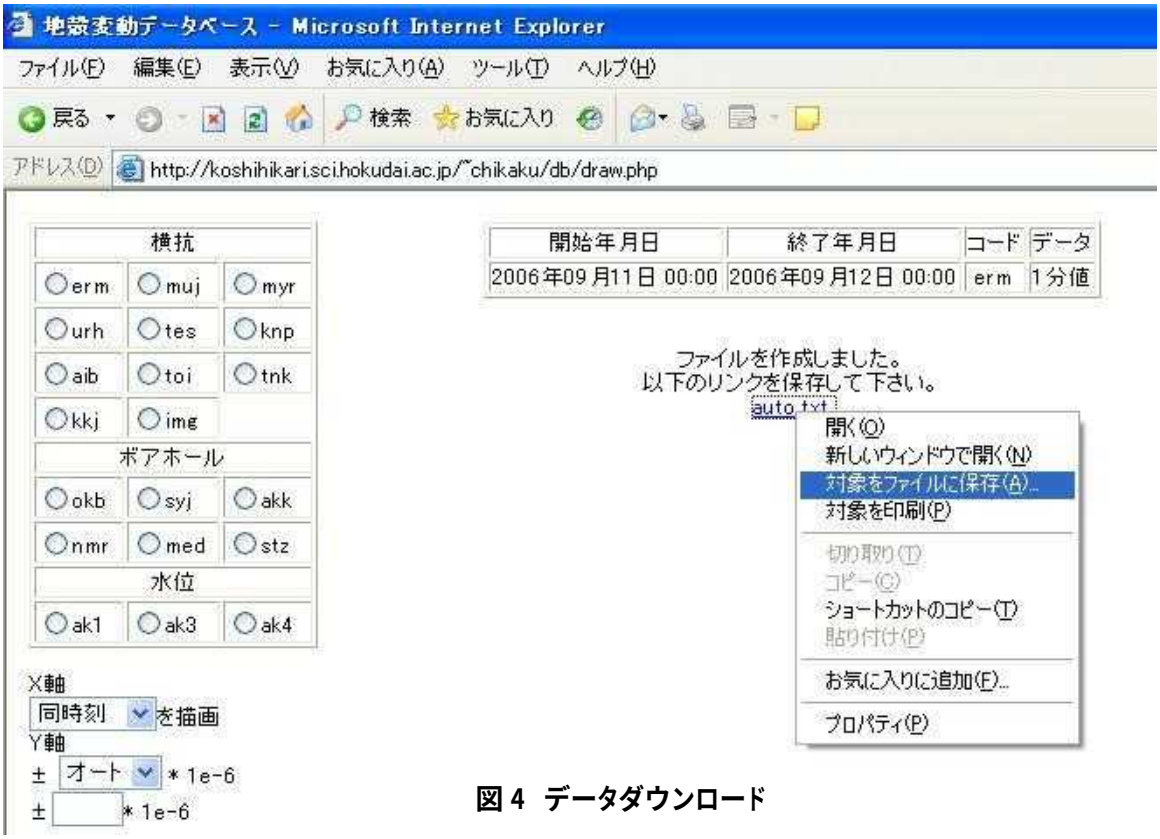

図 4 データダウンロード

2.5 データダウンロード

・テキスト形式

・win format

・pdf(描画した図)

の 3 つの形式でデータをダウンロードできます。以下の操作をしてください。

(1)期間、観測点コード入力画面(図 2)または描画結果画面(図 3)で
期間、観測点コード、Y 軸スケールを入力。
(テキスト形式のダウンロード時は複数観測点指定が可能。)

(2)ファイル形式を
テキスト形式、win format、pdf のプルダウンメニューから選択。

(3)“データダウンロード”をクリック。

(4)ここで、図 4 の画面に切り替わります。
“観測点コード”.txt(.win .pdf)というファイルが作成されるので、
Internet Explorer の場合ファイル名を右クリック後“対象をファイルに保存”を選択。

2.6 パスワードの変更

(1)図 2 で”パスワードの変更”をクリック。

(2)図 5 に切り替わるので、
“old password“に現在のパスワードを”new password”と”retype”に新しいパスワードを入力。

(3)”変更”をクリック

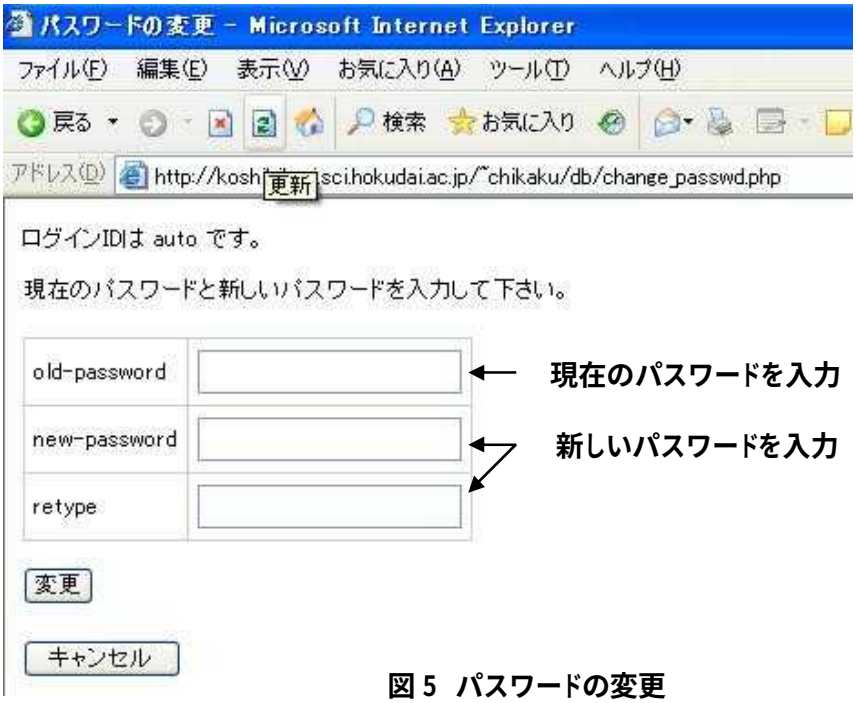

図 5 パスワードの変更

3 データ更新

・1 秒サンプリングデータ :1 時間に 1 回
・1 分、1 時間サンプリングデータ :1 日に 1 回
の間隔でデータ更新されます。

4 イベントリスト

http://koshihikari.sci.hokudai.ac.jp/~chikaku/db/event_list.php にアクセス。
(図 6:データベースからリンクされています。)

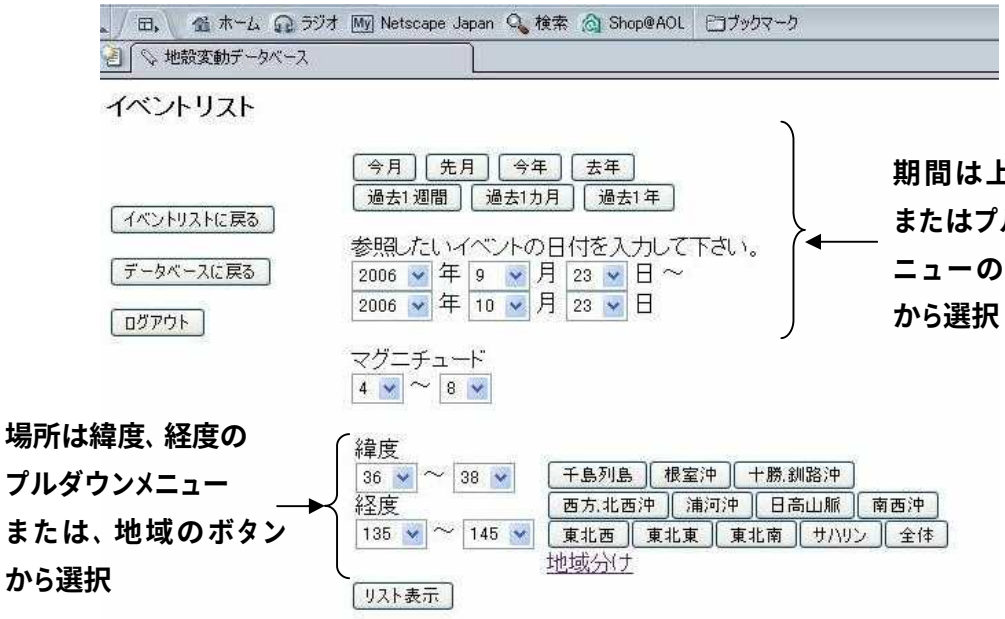

図 6 イベントリストメインメニュー

(1)図 6 で参照したい期間を選択。”過去 1 週間” 等のボタンを押すとプルダウンメニューの
数字が切り替わります。
(2)マグニチュードの範囲を選択します。
(参考) 図 7 の範囲でイベントリストがデータベース化されています。
・青の中の範囲は M4 以上の地震
・オレンジの中は M5 以上の地震
・オレンジの外は M6 以上の地震

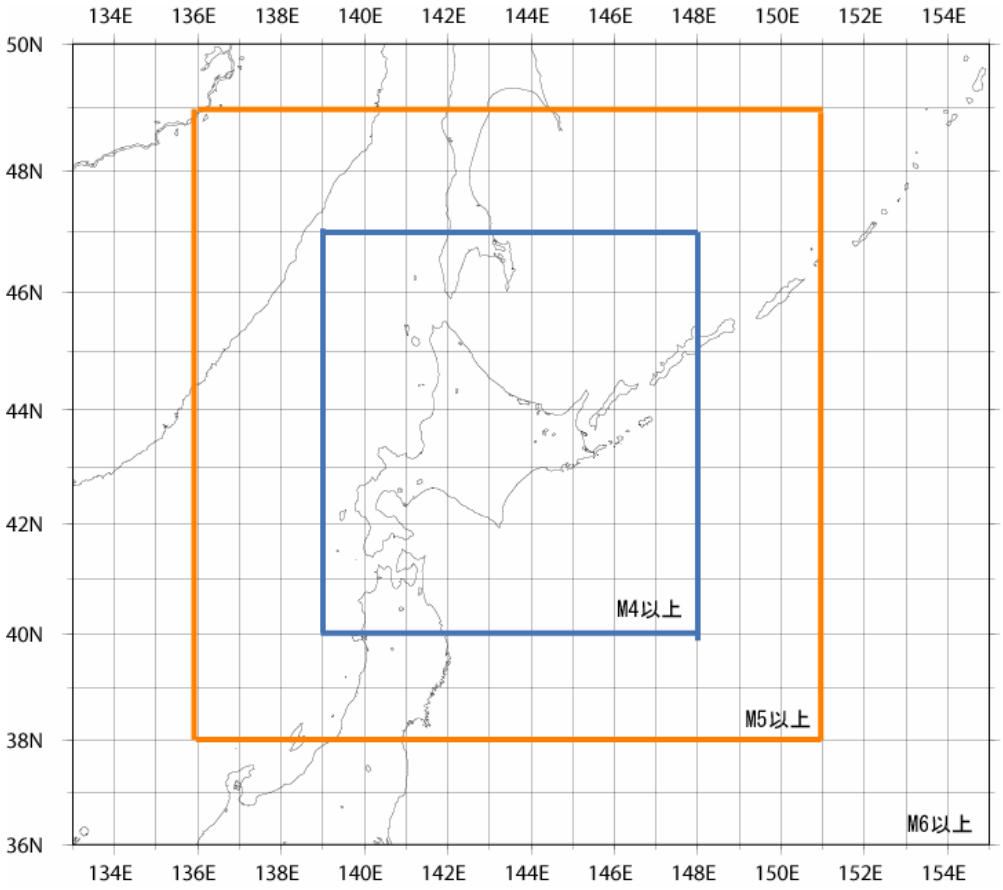

図 7 データベース化されている範囲、M 閾値

(3)場所の範囲を地域別のボタンか、緯度･経度のプルダウンメニューから選択。
例えば、”根室沖”を押すと、緯度 42～44 ° 経度 144～146 ° に切り替わります。
(地域別のボタンは図 8 を参照)
(4)最後に”リスト表示”をクリック。
(5)図 9 のようにリストが表示されます。
(6)図 9 で ORIGIN TIME をクリックすると波形が表示されます。(図 10)
(7)また、図 9 で領域をクリックすると震源位置、メカニズムが分かっていればメカニズムも表示します。
(図 11)

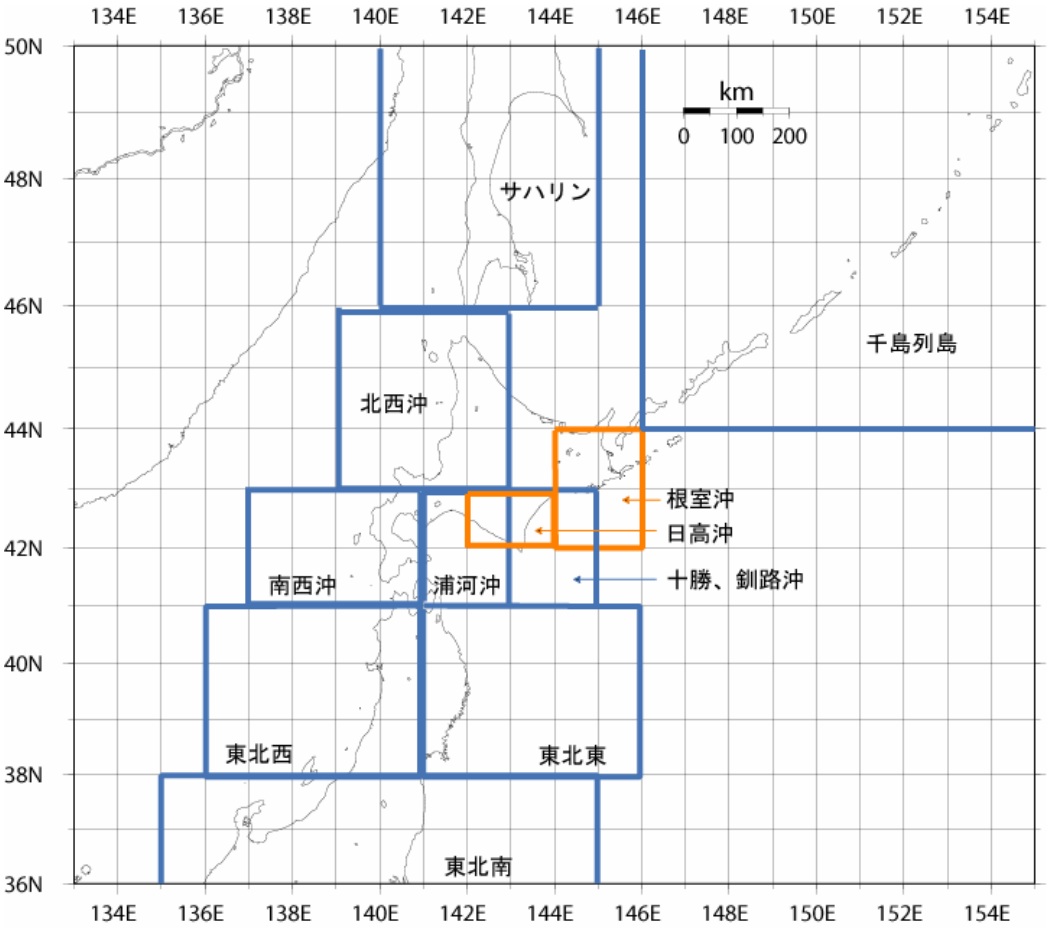

図 8　地域分け

図 9　イベントリスト表示画面

震源位置、
メカニズム表示

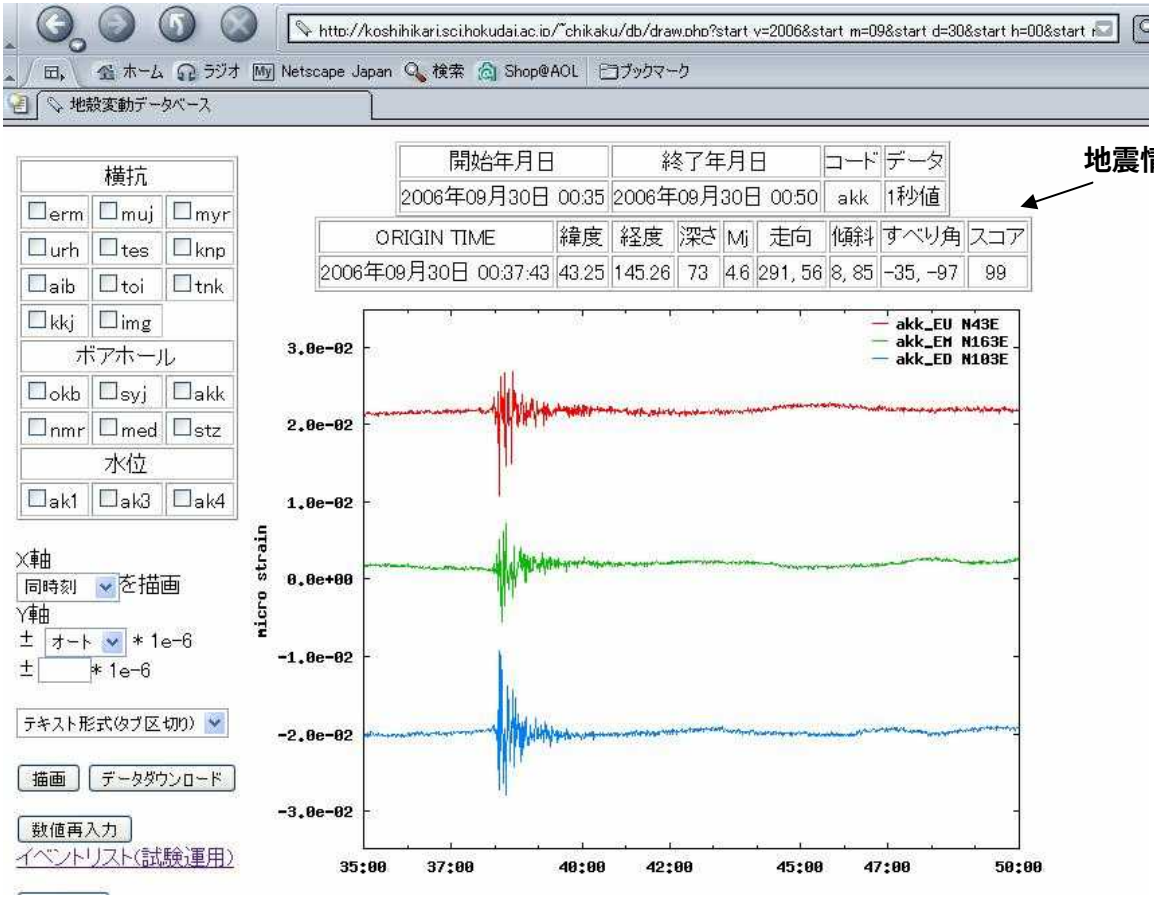

図 10　イベント波形表示

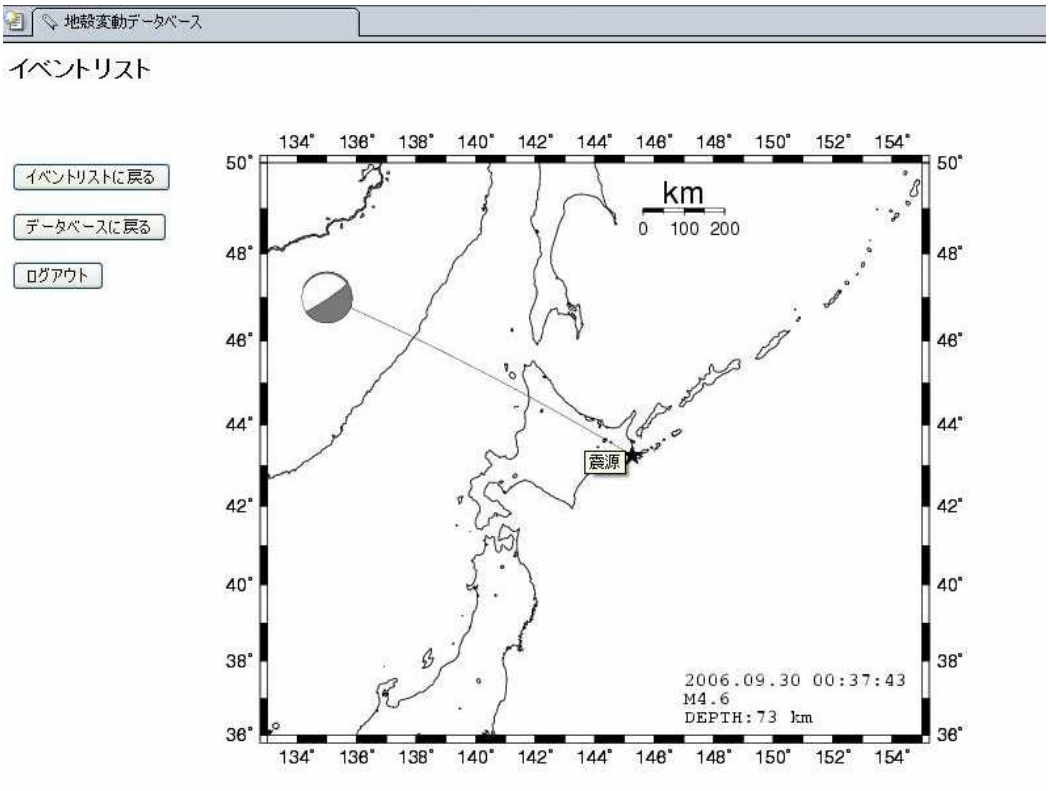

図 11　震源位置表示

以上

不明な点、要望等は
teruhiro@sci.hokudai.ac.jp まで、お問い合わせください。